



平成21年3月18日
JR北海道 函館支社

【函館開港150周年】

100日前イベントを開催いたします！

JR北海道函館支社では、平成21年7月1日に函館開港150周年を迎えるにあたり、3月23日がその100日前にあたることから、「懐かしの青函連絡船」を偲ぶイベントを実施いたします。

「函館開港150周年」を多くのお客様に知っていただき、函館の街全体を盛り上げていきたいと考えております。どうぞお立ち寄りください。

1. イベント実施日時

平成21年3月23日(月) 午後3時23分発「北斗15号」出発時

※函館開港150周年のちょうど100日前にあたります。

2. 場所

JR函館駅 7番のりば ※「北斗15号」出発ホーム

3. イベントの概要

- ① 青函連絡船当時の制服を着て、ホーム上で昔懐かしい青函連絡船の「ドラ」を奏でます。
- ② 午後3時23分の出発時に、摩周丸の汽笛が鳴ります。
- ③ 先着150名様に、ホーム上にて青函連絡船・列車を象ったクッキーをミスツインクルより配布します。

4. スケジュール

- 15:00 7番のりば入り口付近でドラを鳴らし、レトロなドレスを着たミスツインクルがクッキーを配布します。
- 15:18 北斗15号の先頭で、青函連絡船当時の制服姿でドラを鳴らします。
- 15:23 ドラを鳴らし、レトロな制服を着た駅長による北斗15号出発合図、摩周丸の汽笛が鳴ります。

※ドラを鳴らす方 森 栄蔵 様 80歳 (元青函連絡船の船客長)

※『函館開港150周年とは?』



函館市は2009年に開港150周年を迎えます。
これは、米・英・仏・蘭・露との修好通商を定めた「安政の5カ国条約」の発効から数えて150年目に当たります。
安政の5カ国条約とは、鎖国状態にあった日本が5つの港(函館、新潟、横浜、神戸、長崎)を開港し、それらの港において自由貿易を行うと定めた条約のことです。この条約は1859年(安政6年)に発効し、函館(当時は箱館)港はその年の6月2日に国際貿易港として正式に開港しました。
函館市ではこの日を新暦に当てはめた7月1日を「開港記念日」と定めているため、2009年7月1日が函館開港150周年の記念日に当たります。

【お問い合わせ先】 JR北海道 函館支社販売グループ 0138-23-3376
(午前9時から午後5時50分まで 土・日・祝はお休みとさせていただきます。)